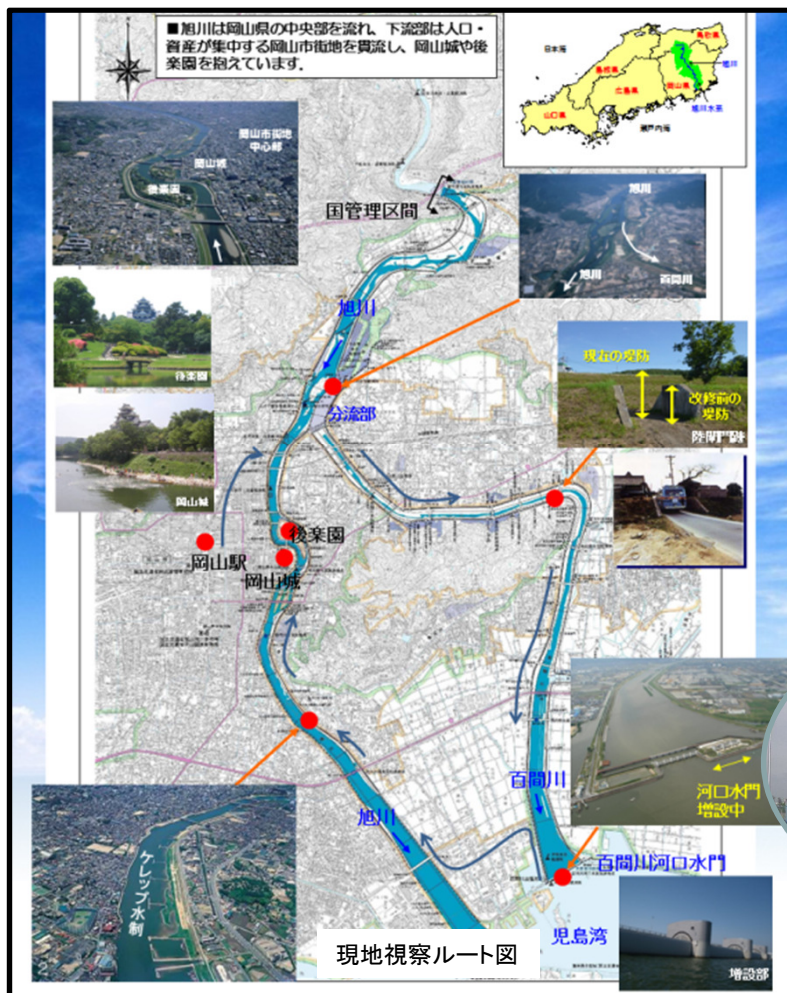


岡山のルーツを巡る水の旅 旭川・百間川を世界に発信！！

～「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」エクスカージョン～

岡山河川事務所

10月12日(日)に、旭川・百間川で「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」エクスカージョン(現地視察)を行いました。ESDとは、Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)の略です。環境・社会・経済のバランスのとれた持続可能な社会を実現するための学びや教育のことです。国連は、2005年から2014年を「ESDの10年」と定めており、世界各国でESDが推進されています。2014年に岡山市と名古屋市にて開催される「ESDに関するユネスコ会議」に関連し、「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」が10月9日(木)から岡山市で開催されました。最終日となる12日(日)に、岡山河川事務所では「岡山のルーツを巡る水の旅」と題して、会議参加者を百間川分流部、陸閘門跡、百間川河口水門、後楽園・岡山城周辺に案内しました。園田事務所長の説明により、江戸時代から約300年受け継がれてきた百間川の治水の仕組みを今後の分流部の改築においても継承する取り組みを紹介し、視察の方々は興味深く見学されました。



百間川(せせらぎ水路)での環境調査体験



一の荒手での説明状況



百間川河口水門



百間川分流部一の荒手(巻石部)で記念撮影！